



水田転換畑における野菜栽培の重要管理項目 -確認・指導項目のチェックリスト-

【1 成果の要約】

水田転換畑における野菜栽培で重要となる導入検討・品目選定・作付計画の作成、ほ場の選定や排水対策、ほ場準備や作業管理について、農業普及員等が指導すべき項目を取組時期・分野別に整理し、具体的な指導へ活用できる「重要管理項目」を作成しました。

【2 成果の概要】

- (1) 本重要管理項目は、「Ⅰ 野菜作の導入検討・品目選定・作付計画作成」、「Ⅱ ほ場選定・排水対策」、「Ⅲ ほ場準備」、「Ⅳ 工程管理全般・作業管理」の4つの取組時期・分野別シートと、図や写真により詳細な説明等を記載した「補足資料」で構成されます(表)。Ⅰ～Ⅳの取組において、どのような状態にしておく必要があるかを「目指すべき状態」としていくつか抽出・整理したうえで、「目指すべき状態」に至るために、どのような事項を確認・指導すべきかを「確認・指導項目」としてチェックリスト形式で記載しています(図)。
- (2) 農業普及員等が、水田転換畑で野菜栽培に取り組む経営体又は既に取り組んでいるものの管理等が不十分な経営体を指導する際に、本重要管理項目からⅠ～Ⅳの取組時期・分野に応じて必要なシートを選択し、①「目指すべき状態」がどのような状態かを説明したうえで、②その状態を実現するために必要な「確認・指導項目」が実施されているかどうかを確認・指導するための資料としてご活用ください。

表 重要管理項目の構成

はじめに	
1	水田転換畑における野菜栽培の現状と課題
2	重要管理項目の使い方
Ⅰ 野菜作の導入検討・品目選定・作付計画作成	
チェック時期 ● 前作終了後(前年)～作付検討時(前年)	
1	野菜作の導入検討
2	品目選定・作付計画作成
3	取組体制
Ⅱ ほ場選定・排水対策	
チェック時期 ● 前作終了後(前年)～作付前(栽培年)	
1	ほ場の選定
2	排水対策
Ⅲ ほ場準備	
チェック時期 ● 作付計画前(前年)～ほ場準備(栽培年)	
1	土壌改良・施肥
2	雑草対策
3	耕起・砕土
4	畦立て・マルチ
Ⅳ 工程管理全般・作業管理	
チェック時期 ● 作付検討時(前年)～作付中～作付終了後(栽培年)	
1	工程管理全般
2	病害虫・雑草対策
3	育苗管理(自家育苗の場合)
4	播種・定植
5	収穫・調製・出荷

Ⅱ ほ場選定・排水対策		
△ チェック時期 : 前作終了後(前年)～作付計画前(前年)		
目指すべき状態	確認・指導項目	
1 ほ場の選定	継続して畑地化に取り組めるほ場である	① <input type="checkbox"/> 地権者に排水対策・畑地化対策の実施(施工)について理解を得る ② <input type="checkbox"/> 【2年目以降】 <input type="checkbox"/> 畑地化を促すため、できるだけ野菜作に転換するほ場を固定する
	日照条件が良いほ場である	③ <input type="checkbox"/> 日光が当たるほ場を選定する(多くの作物(陽性植物)は直射日光6hr/日以上を好み、土壌表からの水の蒸発散が促進する)
	水がたまりにくいほ場を選定する	④ <input type="checkbox"/> 麦や大豆など、水稲以外の品目を1年以上作付したほ場である <input type="checkbox"/> 降雨後(日降水量30mm程度)に1日程度で滞水が無くなるほ場がある ▶ 【補足資料①】参照 <input type="checkbox"/> 隣接水田や用水からの漏水や、道路からの浸入水が無いほ場である
	排水路等が確保された(できる)状態である	⑤ <input type="checkbox"/> ほ場外へ排水するための水路等が隣接している <input type="checkbox"/> 田面から排水口までの落差が30cm以上あり、排水路へ排水でき構造にする(排水口が明渠の底面に位置し、排水路面より上で水できる構造) ▶ 【補足資料②・④】参照
	暗渠排水が施工されているほ場を選定する	⑥ <input type="checkbox"/> 暗渠排水が施工されているほ場を選定する <input type="checkbox"/> 暗渠排水がない場合、事業等(国・県)の活用を含め施工を検討する <input type="checkbox"/> 暗渠が無い場合は、地表排水をより徹底する ▶ 【補足資料③】参照
	作業性や利便性が良いほ場を選定する	⑦ <input type="checkbox"/> 作業者・作業機械等が行き来しやすい、車が駐めやすいほ場である <input type="checkbox"/> 日々の管理や作業がしやすい環境である <input type="checkbox"/> ほ場が分散されていない
	前年度秋までにほ場を選定し、土壌診断により土壌化学性を把握する	⑧ <input type="checkbox"/> 土壌pH(低いことが多い)、塩基類、可給態リン酸等を把握している

図 重要管理項目の一部(Ⅱほ場選定・排水対策)

【3 留意事項】

管理項目に基づく対策や改善を進めるよう指導することを原則としますが、やむを得ない事情で、できない項目がある場合は、その他の項目を徹底するよう指導を行うほか、当該経営体の経営・栽培環境で「目指すべき状態」に至る取組をいかに行うか、別の方策を含め経営体とともに考え、実践を促しましょう。